

エコアクション 21 環境経営レポート

2022 年度版



(対象期間 2021 年 12 月 1 日～2022 年 11 月 30 日)

作成日 2023 年 3 月 12 日

改訂日 2023 年 6 月 30 日

久野産業株式会社

当社は伸銅品・軽金属・ステンレス鋼を主とした非鉄金属を販売しております。
当社が販売した材料は、ボルト・ナットのようなネジ類をはじめ主要な機能部品として加工され、広範囲に使用されております。

1. 環境経営方針

環境経営方針

当社は、事業活動のあらゆる分野において、はかり知れない恩恵を受けてきた自然や資源を大切に、環境との調和を図るため、リサイクル活動を継続的に行い、循環型社会の形成に貢献します。

1. 環境経営目標及び環境経営計画を定め、定期的に見直し継続的改善に取り組みます。
2. 環境影響、環境負荷を軽減するために、次の活動を推進します。
 - ① 現状の燃料消費、電力消費に対しての削減を実施し、二酸化炭素の発生量を削減します。
 - ② 冷暖房の適正温度の徹底を実施します。
 - ③ エコドライブを徹底し、効率的な走行、安全運転を行います。
 - ④ 廃棄物量の削減を実施します。
 - ⑤ 水使用量の削減を実施します。
 - ⑥ 環境に配慮した商品（カドミル、鉛材）の小口対応、切断販売を実施し、得意先の在庫軽減に貢献する。
 - ⑦ グリーン購入の徹底を実施します。
3. 環境関連法規、条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
4. この環境経営方針は教育や提案活動を通して全従業員に周知し、環境保全活動は全員参加により実行します。
5. 環境経営方針を含む環境経営レポートを作成し、地域や利害関係者からの要求に応じて配布、公表し、社内外への情報提供を行うことによって、積極的な環境コミュニケーションに取り組んでいきます。

制定 2009年 4月1日

更新 2020年11月1日

久野産業(株) 東京支店
代表取締役専務 柳原 望

2. 事業の概要

(1) 事業者名

久野産業株式会社東京支店
東京支店 東京都葛飾区立石 3-6-7

(2) 対象範囲

東京支店 東京都葛飾区立石 3-6-7
八潮倉庫 埼玉県八潮市木曾根 1 2 3 1-1
東北営業所 岩手県一関市真柴字吉ヶ沢 2 3-2 6

※エコアクション 21 対象外

久野産業株式会社 本社(ISO14001 認証登録)
大阪市中央区島之内 2-10-27

(3) 事業の概要

伸銅品・軽金属・ステンレス鋼などの非鉄金属の販売・切断加工、
運送業

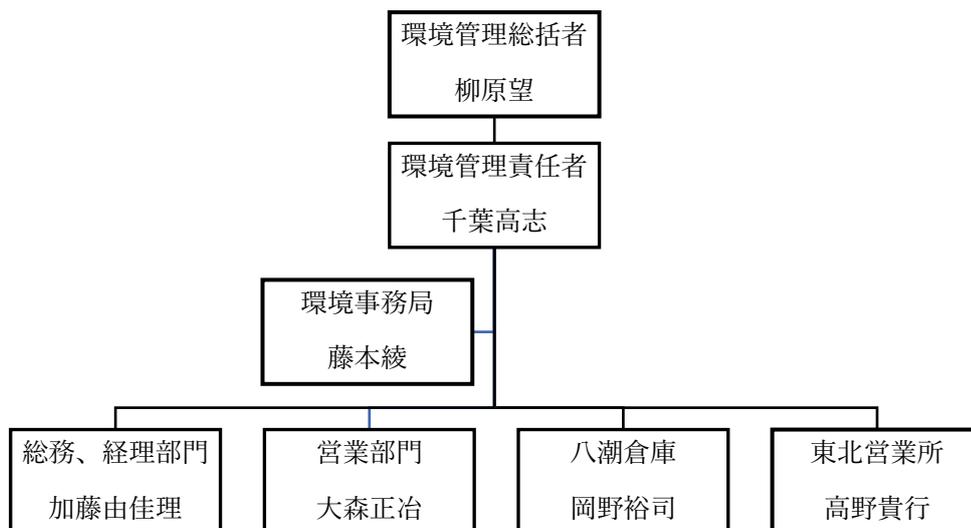
(4) 事業の規模（大阪含む）

資本金 20 百万円
従業員 55 名（R5 年 3 月現在）
※エコアクション 21 の対象は、東京支店管轄 32 名のみ
事業所面積 3,650 m² 内東京支店管轄は 1,884 m²

(5) 環境関係の責任者、および担当者連絡先

環境管理総括者 代表取締役専務 柳原 望
環境管理責任者 営業部次長 千葉 高志
環境事務局 営業部 藤本 綾
連絡先電話 03-5654-1051

3. 実施体制



役職	役割
環境管理統括者	イ) 経営における課題とチャンスを明確にする。 ロ) 環境管理責任者を任命するとともに、実施体制を構築する。 環境管理責任者には、現在の任務に関わりなく責任と権限を明示する。 ハ) 環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源（人材、資金、設備、技術、技能を含む）を準備する。 ニ) 環境経営システムに関する基本方針を制定し、環境経営マニュアル、環境経営目標及び環境経営計画を承認する。 ホ) 環境経営システムの構築・運用に関する情報を収集し、方針・目標をはじめ、システム全体の見直しを行い、必要な指示を行なう。
環境管理責任者	イ) 環境経営に関する経営資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために、環境管理委員会を運営する。 ロ) 環境経営システムの構築と運用を円滑に行い、代表取締役による全体の評価と見直しのための情報として、環境経営システムの構築・運用に関する情報を環境管理統括者（代表者）に提供する。
部門長	イ) 自己の管理範囲内において、全員参加による環境経営システムの運用及び管理の責務を負い、部門内の必要な人材育成、パフォーマンスの向上を図る。
環境事務局	イ) 環境管理責任者の指揮下で環境経営システムの運用・管理を行なう。 ロ) 文書及び記録の管理を行なう。 ハ) 環境管理委員会の議事録を作成する。

4. 環境経営目標

2019年度より電力使用量・ガソリン・軽油購入量・可燃ごみ・水使用量を原単位で管理しています。

＜原単位の計算方法＞

電力使用量：kWh/売上重量(t)

ガソリン+軽油購入量：ℓ/売上重量(t)

可燃ごみ：kg/在籍人数(人)

水使用量：m³/在籍人数(人)

※LPG・灯油は節約に努めますが、削減目標対象には含めません。

環境目標	基準年(2021年度実績)				年度目標	中期目標	
	使用量	売上重量 在籍人数	kg-CO2 排出量	原単位	2022年度 基準年-1.0%	2023年度 基準年-2.0%	2024年度 基準年-3.0%
①電気使用量 削減	98,488kWh	4766.6t	45683	20.7kg-CO2/t	20.5	20.2	20.0
②燃料購入量 削減	55,793.1L		142908	11.7 kg-CO2/t	11.6	11.5	11.4
③一般廃棄物 排出量削減	3,463.4kg	31人		110.5 kg/人	109.4	108.3	107.2
④水使用量 削減	176 m ³			5.6 m ³ /人	5.6	5.5	5.4
⑤産業廃棄物(木くず)及び 金属くず(有価売却)の100%再資源化を維持します。							
⑥環境対応商品(カドミレス材、鉛レス材)の拡販							
⑦グリーン購入の取組							

【注】 基準年の電力の二酸化炭素排出量は、東京電力エナジーパートナーの2020年度調整後排出係数(0.441)東北電力の2020年度調整排出係数(0.457)から算出し合算しています

5. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

取組目標	取組内容	実施した取組内容	評価
① 電気使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・使用しない照明やOA機器等を消す ・エアコンの適正使用 ・照明機器のLED化 	<ul style="list-style-type: none"> ・八潮倉庫 第一倉庫の照明をLED化 ・不要照明の徹底、間引き ・外出時、退社時のPC電源オフの徹底 ・給湯器の夏季停止(立石事務所) ・蛍光灯のHFに変更 ・エアコンの設定は健康と作業効率を考えた適正温度にする 	○
② 燃料購入量削減 (ガソリン・軽油)	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・計画的配送による効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ・車両管理システムを用いて安全運転診断や走行ルートの最適化を行う ・アイドリングストップの徹底 ・急発進、急停車はしない ・車両の日常点検の徹底 ・車内の冷暖房を控えめにする ・同一地域への配達を集約 	○
③ 一般廃棄物 排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・計量による廃棄物量の把握 ・廃棄物の仕分けの徹底 ・コピー用紙の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ分別の徹底 ・裏紙・両面印刷の使用 ・使用済み用紙のリサイクル化 ・web受注システム運用開始によるペーパーレス化 	○
④ 水使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の注意喚起 	○
⑤ 産業廃棄物の 再資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物(木くず)及び金属くず(有価売却)は100%再資源化を維持 		○
⑥ 環境対応商品の 拡販	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入法適合商品の積極的購入 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務用品等の購入時に「グリーン購入法」「エコマーク」のマークのあるものを優先する 	○

6. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果

環境目標	2022年度 目標原単位	運用期間実績 2021年12月～2022年11月				結果判定
		使用量	売上重量	Kg-CO2 排出量	原単位実績	
① 電気使用量削減	20.5	98491kWh	4774.6t	43651.6	20.6 kg-CO2/t	×
② 燃料購入量削減	11.6	58533.1L (内訳) ガソリン：5497.9L 軽油：53035.2L		149586	12.3 kg-CO2/t	×
環境目標		使用量	在籍人数	CO2 排出量	原単位実績	結果判定
③ 一般廃棄物排出量 削減	109.4	3709.0 kg	33人	—	114.1 kg/人	×
④ 水使用量削減	5.6	204.0 m ³		—	6.3 m ³ /人	×
⑤産業廃棄物(木くず)及び金属くず(有価売却)の100%再資源化 木くず、金属くずkg 100%再資源化を維持しました。						○
⑥環境対応商品(カドミレス材、鉛レス材)の拡販 小ロット、小口販売の提案など積極的な提案営業を行いました						○
⑦グリーン購入の取組 事務用品の環境配慮型製品の優先購入を継続しました。						○

CO2 総排出量(LPG・灯油を含む) 単位:kg-CO2

	2022年	2021年	2020年
東京支店	16,991	16,692	一括管理のみ
八潮倉庫	143,727	136,001	
東北営業所	37,771	39,936	
合計	198,490	192,630	173,125

7. 実績と取組結果の評価

- (1) 環境への負荷 : 世界的な脱炭素のトレンドから、社員の意識も向上している
- (2) 自己チェックリスト : 続及び維持に留まらず、尚一層の技術向上に突き進みます。
- (3) 期間中の取組みの評価
- ・電気使用量削減 : 目標未達成。販売実績（重量）は前年とほぼ同じで推移。9月に大型切断機、10月に結露防止対策として大型天井ファンを導入。
 - ・燃料購入量の削減 : 目標未達成、販売実績（重量）はほぼ前年と同じで推移。コロナにより制限されていた営業活動が動き出し、営業車を使用して広範囲に実施。
 - ・一般廃棄物排出量の削減 : 目標未達成。東北営業所計上分により原単位がアップ。
 - ・産行廃棄物廃物の再資源化 : 金属くずの100%再資源化は継続出来た。
 - ・水使用量の削減 : 八潮で経験豊富なトラック運転手が2名増え、定期的に洗車することが習慣化した。
 - ・カドミレス・鉛レス材の拡販 : 前年対比でカドミレス6%増、鉛レス5%増と順調に推移。今後も環境商品の在庫を一層充実させ、拡販に努める。
 - ・グリーン購入の導入 : 事務用品等の購入の際は無駄を省き、環境に配慮された製品を購入するよう引き続き心がける。

8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

次年度の環境経営目標は、中期環境経営目標の達成に取り組めます。(5ページ)
社員の活動は、今までの取組みを確実に継続し、事業活動の面では、環境に優しい商品の販売強化や、生産ロット、配送方法などを見直すことにより、環境負荷低減に取り組んでいきます。

9.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2023年2月に環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また過去5年間、関係機関より違反・訴訟等の指摘はありません。

代表者による全体の評価と見直し・指示

取組状況の評価

2022年度業績(金額)については相場高止まりの影響もあり、前年に引き続き好調に推移。重量ベースで4775ト、0.1%増(東京前比-2.6%、東北前比14%増)。カテゴリー別では伸銅品6%増、アルミ-21%、ステンレス-3%、チタン・特殊鋼-6%。主力の黄銅棒は全体で6%増。(カドミレス6%増、鉛レス5%増)。主力の伸銅品が不調のアルミを補う。自社加工の切断は215717カット、前比6%増。ローレットは引抜数247544本、前比4%増。前年から稼働したWEB受注システム「久野プラス」も作業効率アップに寄与。得意先からの評価も高い。2022年から東北営業所でスタートした倉庫業についてはまだ反応はない。

問題点としては、昨年からの日本軽金属グループのJIS問題が解決しないため、注文が激減。UACJ材の在庫切断販売開始で減少分カバーを目論む。

設備投資は伸長するステンレス、チタン棒材等の難削材の切断案件を狙いハルスソー切断機、結露防止の天井ファン、久野プラスの新バージョン開発。2年に渡った運送業開業準備は完了。2023年度からスタート。

環境責任者への指示

項目	変更の必要性	指示内容
環境経営方針	なし	
環境経営目標	あり	次年度以降の中期目標の変更
環境経営計画	なし	
実施体制	なし	
環境経営システム	なし	
その他	なし	